



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 富士通フロンテック株式会社

コード番号 6945 URL <http://www.fujitsu.com/jp/frontech/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 下島 文明

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 豊美 由喜夫

TEL 042-377-2544

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	73,334	△2.5	1,508	6.2	2,034	22.3	1,094	128.7
26年3月期第3四半期	75,232	12.1	1,421	—	1,663	—	478	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,272百万円 (85.8%) 26年3月期第3四半期 684百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	45.63	45.45
26年3月期第3四半期	19.99	19.87

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	65,379	36,660	55.7	1,518.53
26年3月期	65,152	35,471	54.1	1,473.37

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 36,444百万円 26年3月期 35,236百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
27年3月期	—	9.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	1.9	4,900	20.6	4,300	8.4	3,000	68.0	125.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	24,015,162 株	26年3月期	24,015,162 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	15,590 株	26年3月期	99,199 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	23,981,192 株	26年3月期3Q	23,941,564 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)7ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)連結財政状態に関する定性的情報	5
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	7
4. 四半期連結財務諸表	8
(1)四半期連結貸借対照表	8
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
第3四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	11
第3四半期連結累計期間	11
(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	14
(5)重要な後発事象	14
5. 補足情報	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1)連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、国内におきましては、金融・経済政策などにより緩やかな景気回復がみられるものの、消費税増税等による消費の停滞や、急激な為替変動など先行き不透明な状況で推移いたしました。海外におきましては、一部景気の下振れリスクはあるものの、全体としては回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、金融ビジネスにおきましては、海外向けATM用メカコンポーネントビジネスが引き続き好調に推移いたしました。流通ビジネスにおきましては、損益改善を目的に前年度に実施した国内外のソリューション事業の再編などにより、減収となりました。産業・公共ビジネスにおきましては、スマートフォン検証ビジネスならびに表示システムの前年度の大口商談の一巡により減収となりました。サービスビジネスは流通保守サービスを中心に堅調に推移し、前年同期並みとなりました。以上の結果、連結売上高は73,334百万円（前年同期比2.5%減、1,898百万円の減）となりました。

損益につきましては、売上高は減少したものの、継続して取り組んでいる事業の効率化の効果などにより、連結営業利益は1,508百万円（同6.2%増、87百万円の増）となりました。連結経常利益は為替差益等を計上したことにより、2,034百万円（同22.3%増、370百万円の増）となり、連結四半期純利益は1,094百万円（同128.7%増、615百万円の増）を計上いたしました。

## ①当第3四半期連結累計期間の概況

(単位：百万円)

	2013年度 第3四半期連結累計期間 〔2013年4月1日～ 2013年12月31日〕		2014年度 第3四半期連結累計期間 〔2014年4月1日～ 2014年12月31日〕		前年同期比	
	売上高比(%)	売上高比(%)	売上高比(%)	売上高比(%)	増減率(%)	増減率(%)
売上高	75,232	100.0	73,334	100.0	△1,898	△2.5
営業損益	1,421	1.9	1,508	2.1	87	6.2
経常損益	1,663	2.2	2,034	2.8	370	22.3
四半期純損益	478	0.6	1,094	1.5	615	128.7

2014年度第3四半期累計期間の平均為替レート：106.88円/米ドル、17.29円/中国元  
2013年度第3四半期累計期間の平均為替レート：99.39円/米ドル、16.25円/中国元

## ②セグメント別の概況

(単位：百万円)

		2013年度 第3四半期連結累計期間 〔2013年4月1日～ 2013年12月31日〕		2014年度 第3四半期連結累計期間 〔2014年4月1日～ 2014年12月31日〕		前年同期比	
		売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)		増減率(%)
報告 セグ メント	金融ビジネス	29,769	39.6	32,728	44.6	2,958	9.9
	流通ビジネス	15,802	21.0	13,319	18.2	△2,483	△15.7
	産業・公共ビジネス	15,493	20.6	13,423	18.3	△2,069	△13.4
	サービスビジネス	13,277	17.6	13,196	18.0	△80	△0.6
その他		889	1.2	666	0.9	△223	△25.1
計		75,232	100.0	73,334	100.0	△1,898	△2.5
国内		55,000	73.1	50,134	68.4	△4,865	△8.8
海外		20,232	26.9	23,199	31.6	2,967	14.7
		営業損益		営業損益		前年同期比	
報告 セグ メント	金融ビジネス	2,033		1,860		△173	
	流通ビジネス	△884		△804		80	
	産業・公共ビジネス	305		397		91	
	サービスビジネス	825		801		△24	
その他		△19		61		81	
全社費用		△839		△807		31	
計		1,421		1,508		87	

当第3四半期連結累計期間における各セグメント別の概況は以下のとおりです。

## ＜金融ビジネス＞

金融ビジネスにつきましては、国内向け営業店端末は大口需要が一巡したことから前年同期比では減少いたしました。中国および欧州市場向けを中心に海外向けA T M用メカコンポーネントビジネスが引き続き好調に推移し、連結売上高は32,728百万円（前年同期比9.9%増、2,958百万円の増）となりました。

損益につきましては、営業店端末の売上高が減少したことに加え、海外向けA T M用メカコンポーネントの新製品等の開発など先行投資を実施したことなどにより、連結営業利益1,860百万円となり、前年同期比では173百万円の減少となりました。

#### <流通ビジネス>

流通ビジネスにつきましては、前年度に実施した国内外のソリューション事業の再編により売上高が減少したことに加え、前年度にあった海外向けPOSの大口商談の一巡により、減収となりました。以上の結果、連結売上高は13,319百万円（前年同期比15.7%減、2,483百万円の減）となりました。

損益につきましては、売上高の減少はあったものの、前年度から取り組んでいる構造改革や事業効率化の効果などにより、連結営業損失804百万円と前年同期比では80百万円改善いたしました。

#### <産業・公共ビジネス>

産業・公共ビジネスにつきましては、トータリゼータ端末が堅調に推移いたしました。一方、スマートフォン関連の検証ビジネスならびに表示システムの大口商談が一巡したことによる減収がありました。以上の結果、連結売上高は13,423百万円（前年同期比13.4%減、2,069百万円の減）となりました。

損益につきましては、売上高は減少したものの、コストダウンなど徹底した効率化を推進したことなどにより、連結営業利益は397百万円と前年同期比で91百万円増加いたしました。

#### <サービスビジネス>

サービスビジネスにつきましては、流通保守サービスなどが堅調に推移し、連結売上高は13,196百万円、連結営業利益は801百万円と前年同期並みで推移いたしました。

今年度は新たにPOSレジ、入金機、ATMをクラウドで結合し、流通店舗での現金管理を飛躍的に効率化する「現金管理運用サービス」を市場投入するなど、サービスビジネスの拡大に努めております。

## (2)連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産・負債・純資産の状況

(単位:百万円)

	2013年度 連結会計年度末 (2014年3月31日)		2014年度 第3四半期連結会計期間末 (2014年12月31日)		増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
流動資産	47,075	72.3	46,230	70.7	△845	△1.8
(現金及び預金等)	( 6,233)	( 9.6)	( 7,614)	( 11.6)	( 1,381)	( 22.2)
(受取手形及び売掛金)	( 23,844)	( 36.6)	( 18,449)	( 28.2)	( △5,395)	( △22.6)
(たな卸資産)	( 14,562)	( 22.4)	( 17,448)	( 26.7)	( 2,886)	( 19.8)
固定資産	18,076	27.7	19,149	29.3	1,072	5.9
資産合計	65,152	100.0	65,379	100.0	227	0.3
流動負債	24,509	37.6	23,167	35.4	△1,341	△5.5
(支払手形及び買掛金)	( 15,950)	( 24.5)	( 15,287)	( 23.4)	( △662)	( △4.2)
(短期借入金)	( 1,235)	( 1.9)	( 1,446)	( 2.2)	( 211)	( 17.1)
(未払金他)	( 6,744)	( 10.4)	( 5,474)	( 8.4)	( △1,269)	( △18.8)
固定負債	5,171	7.9	5,550	8.5	379	7.3
負債合計	29,680	45.6	28,718	43.9	△961	△3.2
株主資本	36,008	55.3	37,047	56.7	1,039	2.9
その他の包括利益累計額	△771	—	△603	—	167	—
少数株主持分他	234	0.4	216	0.3	△18	△7.7
純資産合計	35,471	54.4	36,660	56.1	1,188	3.4
負債純資産合計	65,152	100.0	65,379	100.0	227	0.3

  

自己資本	35,236	36,444	1,207	3.4
自己資本比率	54.1%	55.7%	1.6	

2014年度第3四半期末の為替レート：120.53円/米ドル、19.34円/中国元  
2013年度末の為替レート：102.92円/米ドル、16.58円/中国元

## &lt;資産、負債、純資産の状況&gt;

資産については、前年度末に集中した売上に係る受取手形及び売掛金を回収したものの、年度末の所要に対応したたな卸資産の増加、および固定資産の購入増などにより、227百万円増加し、65,379百万円となりました。

負債については、賞与、法人税等の支払により、961百万円減少し、28,718百万円となりました。

純資産については、当期純利益の影響、および為替の変動による為替換算調整勘定等、その他の包括利益累計額が増加したことにより、1,188百万円増加し、36,660百万円となりました。自己資本比率は、1.6ポイント増加し、55.7%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2013年度 第3四半期連結累計期間 〔2013年4月1日～ 2013年12月31日〕	2014年度 第3四半期連結累計期間 〔2014年4月1日～ 2014年12月31日〕	前年同期比
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
（税金等調整前四半期純損益）	（ 1,111）	（ 1,821）	（ 710）
（減価償却費及びのれん償却額）	（ 2,968）	（ 2,713）	（ △255）
（売上債権の増減額（△は増加））	（ 9,394）	（ 6,133）	（ △3,261）
（たな卸資産の増減額（△は増加））	（ △4,135）	（ △2,191）	（ 1,943）
（仕入債務の増減額（△は減少））	（ △912）	（ △1,396）	（ △484）
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,320	4,971	△1,348
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	106	△2,700	△2,806
I+IIフリーキャッシュ・フロー	6,426	2,271	△4,154
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,921	△1,217	2,704
現金及び現金同等物に係る換算差額	226	339	113
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,731	1,393	△1,337
現金及び現金同等物の期首残高	2,137	6,221	4,084
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,868	7,614	2,746

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、4,971百万円のプラスとなりました。これは年度末の売掛債権の回収を進めたこと、また、年度末の所要に対応した仕込の増加により、たな卸資産が増加したことが主要因であります。前年同期比では1,348百万円の収入減となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,700百万円のマイナスとなりました。固定資産の取得による支出が主要因であります。前年同期比では、2,806百万円の支出増となりました。

この結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリーキャッシュ・フローは2,271百万円のプラスとなり、前年同期比では4,154百万円の収入減となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは1,217百万円のマイナスとなりました。前年同期比では2,704百万円の支出減であります。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は7,614百万円と、前年度末からは1,393百万円の増加となりました。



(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成26年4月28日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引した割引率を使用する方法へ変更いたしました。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は、軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,045	2,863
預け金	3,188	4,751
受取手形及び売掛金	23,844	18,449
製品	5,505	6,455
仕掛品	5,282	6,427
原材料及び貯蔵品	3,774	4,564
繰延税金資産	1,229	1,065
その他	1,216	1,666
貸倒引当金	△11	△15
流動資産合計	47,075	46,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,640	2,644
機械装置及び運搬具（純額）	319	286
工具、器具及び備品（純額）	5,760	6,580
土地	2,050	2,091
建設仮勘定	532	964
有形固定資産合計	11,304	12,567
無形固定資産		
のれん	863	726
ソフトウェア	2,672	2,709
その他	221	212
無形固定資産合計	3,757	3,649
投資その他の資産		
投資有価証券	468	449
繰延税金資産	1,581	1,330
デリバティブ債権	588	642
その他	409	542
貸倒引当金	△32	△33
投資その他の資産合計	3,014	2,932
固定資産合計	18,076	19,149
資産合計	65,152	65,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,950	15,287
短期借入金	1,235	1,446
リース債務	1,052	1,159
未払金	2,488	2,678
未払費用	2,469	1,403
未払法人税等	681	180
役員賞与引当金	52	29
資産除去債務	-	23
その他	580	959
流動負債合計	24,509	23,167
固定負債		
長期未払金	-	5
リース債務	2,969	3,448
役員退職慰労引当金	35	34
退職給付に係る負債	1,998	1,908
資産除去債務	166	154
固定負債合計	5,171	5,550
負債合計	29,680	28,718
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,457	8,457
資本剰余金	8,223	8,222
利益剰余金	19,388	20,377
自己株式	△61	△10
株主資本合計	36,008	37,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30	22
繰延ヘッジ損益	21	△8
為替換算調整勘定	△63	378
退職給付に係る調整累計額	△698	△995
その他の包括利益累計額合計	△771	△603
新株予約権	82	57
少数株主持分	152	159
純資産合計	35,471	36,660
負債純資産合計	65,152	65,379

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	75,232	73,334
売上原価	62,083	59,817
売上総利益	13,148	13,517
販売費及び一般管理費	11,727	12,008
営業利益	1,421	1,508
営業外収益		
受取利息	21	25
受取配当金	3	3
為替差益	455	723
雑収入	189	57
営業外収益合計	670	810
営業外費用		
支払利息	86	81
固定資産廃棄損	18	15
固定資産売却損	121	-
出向者人件費負担額	51	65
遅延損害金	43	86
雑支出	105	35
営業外費用合計	427	284
経常利益	1,663	2,034
特別損失		
事業構造改善費用	218	54
特別退職加算金等	280	-
減損損失	54	-
和解金	-	158
特別損失合計	552	212
税金等調整前四半期純利益	1,111	1,821
法人税、住民税及び事業税	356	325
法人税等調整額	263	392
法人税等合計	619	717
少数株主損益調整前四半期純利益	491	1,104
少数株主利益	12	9
四半期純利益	478	1,094

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	491	1,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	53
繰延ヘッジ損益	△46	△30
為替換算調整勘定	267	442
退職給付に係る調整額	△25	△297
その他の包括利益合計	193	167
四半期包括利益	684	1,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	671	1,262
少数株主に係る四半期包括利益	13	10

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,111	1,821
減価償却費	2,715	2,576
のれん償却額	253	136
減損損失	54	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△25
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9	△0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9	△23
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△34	3
株式報酬費用	19	24
受取利息及び受取配当金	△25	△28
支払利息	86	81
為替差損益(△は益)	△109	△186
固定資産売却益	△8	△0
固定資産売却損	121	-
固定資産廃棄損	76	18
特別退職加算金等	280	-
和解金	-	158
売上債権の増減額(△は増加)	9,394	6,133
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,135	△2,191
未払費用の増減額(△は減少)	△857	△1,008
仕入債務の増減額(△は減少)	△912	△1,396
その他	△288	△5
小計	7,735	6,085
利息及び配当金の受取額	25	28
利息の支払額	△86	△81
法人税等の支払額	△1,353	△1,061
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,320	4,971
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	12
有形固定資産の取得による支出	△1,114	△3,156
有形固定資産の売却による収入	757	1,262
無形固定資産の取得による支出	△967	△817
無形固定資産の売却による収入	424	1
事業譲渡による収入	994	-
貸付けによる支出	△26	△35
貸付金の回収による収入	28	31
その他投資活動による支出	△7	△15
その他投資活動による収入	15	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	106	△2,700

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,702	-
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△42	△1
配当金の支払額	△382	△431
リース債務の返済による支出	△789	△781
少数株主への配当金の支払額	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,921	△1,217
現金及び現金同等物に係る換算差額	226	339
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,731	1,393
現金及び現金同等物の期首残高	2,137	6,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,868	7,614

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日) (単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	金融 ビジネス	流通 ビジネス	産業・公共 ビジネス	サービス ビジネス				
売上高	32,728	13,319	13,423	13,196	666	73,334	—	73,334
営業利益又は 営業損失(△)	1,860	△804	397	801	61	2,316	△807	1,508

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、金型・切削加工事業、従業員向け福利厚生事業等を含んでおります。

(注2) 営業利益又は営業損失の調整額△807百万円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用△807百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究等の戦略費用及び親会社のグループ経営管理・サポート機能に係る費用等であります。

## (5) 重要な後発事象

該当事項はありません。



## 5. 補足情報

平成27年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	26年4月~26年6月	26年7月~26年9月	26年10月~26年12月	27年1月~27年3月
売上高	21,232	27,590	24,511	
売上総利益	2,981	5,432	5,102	
営業利益又は損失(△)	△963	1,390	1,082	
経常利益又は損失(△)	△1,080	1,657	1,458	
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	△1,080	1,657	1,245	
四半期純利益又は純損失(△)	△735	1,078	751	
1株当たり四半期純利益 又は純損失(△)	△30円72銭	44円95銭	31円30銭	

総資産	61,800	65,190	65,379	
純資産	34,471	35,815	36,660	
1株当たり純資産	1,428円71銭	1,483円57銭	1,518円53銭	
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,201	△1,230	999	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△690	△950	△1,059	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△491	△248	△477	
現金及び現金同等物期末残高	10,218	7,965	7,614	

平成26年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	25年4月~25年6月	25年7月~25年9月	25年10月~25年12月	26年1月~26年3月
売上高	20,336	28,485	26,410	32,681
売上総利益	2,830	5,361	4,956	6,729
営業利益又は損失(△)	△1,146	1,525	1,042	2,641
経常利益又は損失(△)	△1,025	1,267	1,421	2,301
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	△1,243	933	1,421	1,991
四半期純利益又は純損失(△)	△914	519	873	1,307
1株当たり四半期純利益 又は純損失(△)	△38円17銭	21円70銭	36円53銭	54円65銭

総資産	61,035	63,600	61,837	65,152
純資産	33,640	34,201	34,926	35,471
1株当たり純資産	1,393円87銭	1,420円28銭	1,450円45銭	1,473円37銭
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,490	△2,542	2,371	1,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△377	△12	496	235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,938	△393	△1,589	△285
現金及び現金同等物期末残高	6,365	3,412	4,868	6,221